

当報告の内容は著者の著作物です。

Copyrighted materials of the authors.

### KKLO イベント実施報告

**【名称】** 邦人向け公開講演会「フィリピンのイスラームを知る—歴史的背景からミンダナオ紛争の現状、生活文化まで」

**【実施日時】** 2017 年 9 月 2 日（土）15：00～17：30

**【会場】** JICA フィリピン事務所オーディトリウム

**【主催・企画】** 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所コタキナバル・リエゾンオフィス

**【協力】** JICA フィリピン事務所、まにら新聞、PRA 日本人倶楽部

**【当日の概要】** フィリピン在住の邦人向けにフィリピンにおけるイスラームとムスリム（イスラーム教徒）の社会についての講演を実施した。当日は筑波大学大学院人文社会系の鈴木伸隆准教授による趣旨説明に続いて、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所の床呂郁哉教授と京都文教大学総合社会学部の森正美教授の二人が登壇し、それぞれ「フィリピンのイスラームとムスリム社会を知る：その歴史からミンダナオ紛争まで」、「フィリピン・ムスリムの生活文化に触れる」と題して、その 13 世紀以降の歴史的背景から現代のミンダナオ紛争・テロ等への影響、そしてムスリムの生活文化に至るまでを解説した。ミンダナオ紛争に関してはアメリカ植民地統治期に遡る歴史的背景から説き起こし、その後の MILF（モロイスラーム解放戦線）など武装勢力と政府側の紛争と和平プロセスの概要、そして現在のドゥテルテ政権下のミンダナオ情勢、とくにマラウイ市占拠情勢をめぐるフィリピンの IS 系集団の動向などについても解説を行った。また和平プロセスに関しては日本政府・JICA による積極的な貢献にも言及した。さらにムスリム（マラナオ）社会におけるジェンダーや生活文化、多元的な法規範についても事例を挙げて解説を実施した。会場には計 80 名を超える参加者が出席し、質疑応答も含めて盛況のうちに講演会を終了することができた。

（以上終わり）